

# 久保忠一後援会ニュース

活動報告春号 2012年4月1日発行

発行者 鴨川市議会議員

久保忠一 (くぼただかず)

住所 東条地区広場1709番地 1960年3月9日 生所属団体・役職  
エビハラ病院(薬剤師・ケアマネ)、NPO法人床ずれ研究会(代表)、日本褥瘡  
学会(千葉県支部実行委員)、認定NPO法人生活情報推進ネットワーク(副  
代表)など

## 連絡先

090-7402-3941

FAX: 04-7093-6030

E-mail: qqbm5s5w9

@able.ocn.ne.jp

携帯メール

topple.nozomi@docomo.ne.jp

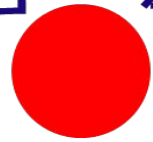
住所: 東条地区

広場1709番地



がんばろう

日本



ごあいさつ

輝かしい季節を迎え、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

野田首相は、年金改革と増税を断行しようとしております。

政権維持のために先送りにするのが、世の常であったのに、この姿勢に私は賛同いたしません。実際、増税しなければ国の経済は立ち行かず、他の税の増税分では追いつかないのです。

もちろん増税だけで何とかなるといふわけではなく、未来像の提示、経済振興策と自らの失政を棚に上げることなく、自分を含め政治家の身を切る覚悟が先です。

八〇年頃の大平首相は消費税を導入しようとして大バッシングを受け、道半ばで逝かれました。早い段階で導入し、バブル時に増税していたらと思います。

昔は成長期だから良かったが、今のデフレ下ではダメというのが反対論者です。でも誰も経済と産業を振興させる実効策を持っていません。

そもそも国家の活動が民間の企業活動により作られていることに政府や官僚が目を向けず、すでに利権政治により破綻の道を進んでいると言っても過言ではないと思います。

鴨川の経済はもっと大変ですが、小回りの利く小さな自治体では、本気で民間の持つ優れたシーズ(種)を生かせば振興策は可能と考えます。逆に昔の利権政治に陥ってしまえば、すぐ破綻します。

絶対にそうならないように頑張るのが市民の代表たる議員の仕事と考えております。

今後も一方ならぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

